

【参考】モデル事業案

「再チャレンジ可能なまち」や「コレクティブタウン」に代表されるような、西成の魅力を活かしながら、西成の経験を実践モデルとして構築するために重点テーマを再設定し、目に見える、実感が伴うチャレンジ型の取り組み（モデル事業）を実施・検証することが重要である。下記内容は「案」ではあるが、現在実施している調査や地域会議の場で具体化する予定である。今後、各関係部局との連携・調整のためにも、単なる検討のみの会議体ではない具体的な動きを作るためのテーブルが必要である。

A. 西成における地域学習等の教育の成果を市域へ

A1. 「こどもの夢」実現 PROJECT

A2. 西成をふるさとにするアクティブラーニング

B. 多様なハウジングの展開：交流と定住の間をデザイン

B1. 簡宿・密集市街地アパート等のハウジングマネジメントPROJECT (西成版インスペクション含む)

- ・ 西成北部版居住支援法人+立地誘導促進施設協定制度活用

C. 福祉と労働(就労)をつむぐサービスHubの再構築

C1. 西成中間就労モデル PROJECT (ソーシャルイノベーション)

- ・ 生活保護受給者および生活困窮者に対する中間就労モデル事業
- ・ 建築×リノベーション×地域就労×登竜門(再掲)

D. 西成北部地域における「居場所」の再構築

D1. 共遊PARK PROJECT (公園等暫定活用モデル事業)

- ・ 新萩の森プロジェクト
- ・ オルタナティブな公園づくり
(使い分け・暫定活用・防災・コミュニティ農園・公園PFI等)

D2. 暮らしを支える居場所づくり PROJECT

E. 低未利用資源の利活用・地域活性化等

E1. 広場等暫定活用 (屋台村・イベント等) PROJECT

E2. 西成版リノベーションスクール PROJECT

E3. 駅前エリアマネジメント協議会の設置 (準備)

A. 西成の「地域学習」の成果を市域へ

A1. 「こどもの夢」実現プロジェクト

西成をふるさとにする アクティブラーニング

●目的・目標

いまみや小中一貫校の地域学習で提案された子どもの夢を大人たちが実現することで、西成をふるさとにするまちづくりを目指すために、①まちづくりビジョンの具現化を図り、②子どもが成功体験の場づくりを通じてまちへの愛着を醸成して将来のまちの担い手づくりを目指すとともに、③子どもを通じて大人たちのまちづくりへ気づきや意識づくりを深めるアクティブラーニングによって各主体間のつながりを醸成する。

●内容

Step1: 地域学習「まちの未来を考えよう」(例7年生)や子どもの壁による公園内など出てきた提案をブラッシュアップし、大人と一緒に事業化する。
西成愛してproject 人との交流を促して課題を地やプロジェクト
西成 CleanArt project 路上の自転車を倒さずプロジェクト
昭和のUSJ project フレンドリースモールワールド project

Step2: 一貫校・西成アーカイブ・地域・行政を中心にテーマに関連する組織等が連携し、授業やワークショップを通じて出てきた子どもたちの提案をブラッシュアップしながらプロジェクト化する。

●事業主体・事業スキーム

まちづくり会議に回り、実現可能な体系的なまちづくりプロジェクトとして位置付け、各プロジェクトについて各種関係団体(者)によるプロジェクトチームを設置し、具体化する。→プロジェクトB・C・Dと連携

●課題・DATA

【まちづくりビジョン調査】
・ 子ども・子育て世帯の減少
・ 安心してあそべる公園や遊び場や居場所の不足
・ まちや労働者等に対する親と子どもの意識ギャップの存在
【一貫校地域学習】
・ 「まちの未来を考えよう」

D. 西成北部地域における「居場所」の再構築

D1. 共遊PARK PROJECT (公園等暫定活用モデル事業)

●目的・目標

いまみや小中一貫校周辺の公園や広場を中心に、子どもや多様な利用者の居場所づくりを進める。とくにあいりん地区の公園及び広場について課題を解決を図る利活用を目指して、暫定活用を含めた具体的なモデル事業(実験)を行って検証する。

●内容

子どもの遊び場・地域の公園・労働者等の居場所
× (暫定活用)
幼児園庭・農菜園・sports・プレイパーク・防災広場
炊出し・荷物置場・wc・室・就労訓練・屋台村etc.
÷ (地域指定管理+就労)

の連立方程式を解くプロジェクト

E. 多様なハウジングの展開：交流と定住の間をデザイン

E1. 西成版リノベーションスクール PROJECT

●目的・目標

豊かな地域資源(人的・物的)を活用しながら町全体をシェアして暮らせるコレクティブタウンの具現化する。とくに空き家・空き施設・空き地等のストックを積極的に利活用することで、①多様な交流一定住人口子育て世帯の導入、②生活困窮世帯への支援、③まちの事前復興・減災まちづくりの実現を目指して、インスペクションやストックマネジメント組織の設置(支援)

●課題・DATA

・ 安心してあそべる公園や遊び場や居場所の不足
・ まちや労働者等に対する親と子どもの意識ギャップの存在
・ 公園部会の取り組み

→エビデンス

事業提案のイメージ